

① 「いつも気をつけよう」・「たいせつ」一覧（話すこと・聞くこと）

	話すとき	聞くとき	話し合うとき
一年・二年	<p>○ていねいなことばづかいで話す。 ○じゅんじょに気をつけて話す。</p> <p>【たいせつ】はっぴょうするときには ・話すことのじゅんじょを考える。 ・みんなに聞こえる声で話す。 【たいせつ】分かりやすくはっぴょうする ・「はじめ」「中」「おわり」のまとまりで、話すじゅんじょを考える。 ・聞く人が、聞きとりやすい声の大きさやはやさを考えて話す。</p>	<p>○話を聞いたら、しつもんをしたり、かんそうを言ったりする。</p> <p>【たいせつ】だいじなことをおとさずに、話したり聞いたりする ・だいじなことをなにかをかかんがえて、話したり聞いたりする。</p>	<p>○だいじなことに気をつけて、話したり聞いたりする。</p> <p>【たいせつ】みんなで話し合ってきたる ・話し合いをすすめる人をきめる。 ・話し合うことをたしかめる。 ・友だちの話を、さいごまで聞いてから話す。 ・考えを話すときには、理由を言う。 ・分からないことは、しつもんする。 ・きめたことを、さいごにたしかめる。</p>
三年	<p>○大事なこと（話の中心）を考えて話す。 ○話の組み立てを考える。</p> <p>【たいせつ】しりょうをもとに発表する。 ・話題をはっきりさせる。 ・しりょうのどの部分から、何が分かったのかをはっきりさせる。 ・聞き手にしりょうを見てもらうときは、そのための時間を取ったり、見てほしいところを指しめしたりする。 ・しりょうから分かることと、自分が思ったことや考えたことを分けて話す。</p>	<p>○話の中心に気をつけて聞く。 ○自分だったらと考えたり、自分の知っていることとつなげたりしながら聞く。</p> <p>【たいせつ】よい聞き手とは ・話の中心（話し手がいちばん話したいこと）に気をつけて聞く。 ・自分だったらどうかと考えたり、自分の知っていることをつなげたりして聞く。 ・話し手が話したいことにそったしつもんやかんそうを言う。 ・他の人のしつもんやかんそうも、よく聞く。</p>	<p>○司会をする人決め、司会の進行にそって話し合う。 ○さんかする人は、自分の考えとその理由を言う。</p> <p>【たいせつ】話し合いにさんかするときは ・指名されてから話す。 ・自分の考えと、そう考えた理由を言う。 ・友だちの意見と同じところ、ちがうところをはっきりさせて、意見を言う。 など 【たいせつ】司会をするときは ・何について話し合うかと、話し合う手順をたしかめる。 ・発言する人を指名したり、順番を決めたりする。 ・ところどころで、意見をせいりする。</p>
四年	<p>○話題をはっきりさせて話す。 ○事実と自分の意見を区別して話す。 ○強弱や間の取り方などを工夫して話す。</p> <p>【たいせつ】調べたことを発表する ・記録を活用して内容を整理し、話したいことを明らかにする。 ・声の大きさや速さ、強弱、間の取り方に気をつけて、大事なことが伝わるように話す。 など</p>	<p>○話の中心に気をつけて聞く。 ○自分だったらと考えたり、自分の知っていることをつなげたりしながら聞く。</p> <p>【たいせつ】聞きながらメモを取るときは ・後で見たときに分かるように書く。 ・短い言葉で書く、記号を使う、かじょう書きにするなど、工夫して、すばやく書く。 ・聞き取れなかったことなどは、後でしつもんできるように、印をしたり、書くところを空けておいたりする。 ・話が終わったら、すぐにメモを読み返し、書き切れなかったことを書いたり、気がついたことを加えたりして、整理する。</p>	<p>○話し合いの目的と進め方を確かめる。 ○それまでにした意見との関係を言い、自分の立場を明らかにして発言する。</p> <p>【たいせつ】よりより話し合いのために 〈司会者〉 ・参加者から意見が出るよう、工夫する。 ・意見を整理したり、話題をたしかめたりする。 ・決まったことをたしかめる。 〈参加者〉 ・話し合いの目的と進め方をたしかめる。 ・自分の立場を明らかにし、理由とともに話す。 ・それまでにした意見との関係を言う。</p>
五年	<p>○話したいことを明確にし、事実と自分の考えを区別して話す。 ○声の大きさや強弱、間の取り方などを工夫し、大事なことが伝わるように話す。</p> <p>【たいせつ】説得力のあるスピーチをする 説得力のあるスピーチをするために、次のことに気をつけて、内容や構成を工夫するとよい。 ・意見とその理由をはっきりと伝える。 ・自分の体験や調べた事実など、具体的な理由を入れた説明する。 ・目的や条件など、聞き手が求めていることを考えて話を構成する。</p>	<p>○話の中心に気をつけて聞く。 ○聞きながらメモを取るときは、短い言葉で書く、記号を使うなど工夫する。</p> <p>【たいせつ】「きくこと」で理解し合うには 〈たずねるとき〉 ・一番聞きたいことをはっきりさせて、話の流れにそって質問する。 ・相手の意図をとらえて、話の要点をまとめたり、内容を確認したりする。 ・必要に応じ、事前に下調べをしておく。 〈質問に答えるとき〉 ・聞き手がその質問をすることで、何を知りたいのかを考えて話す。 ・質問の意図が分からなければ、たずね返したり、確認したりする。 〈話の記録をまとめるとき〉 ・やり取りと正確に聞いて、要点をメモに取る。</p>	<p>○司会者・提案者・参加者の役割を理解し、議題にそって話し合いが進むよう、たがいに協力する。</p> <p>【たいせつ】計画的に話し合う ・話し合いの目的を確かめる。 ・目的を意識しながら、話題にそって話し合う。 ・自分の立場を明確にして話す。 ・決められた時間内に発言するなど、各自が進行に協力する。</p>
六年	<p>○目的や条件など、聞き手が求めていることを考えて話を構成する。 ○意見とその理由をはっきりさせて話す。</p> <p>【たいせつ】場に応じた話し方を工夫する 発表やスピーチをするときには、その場に応じた話し方をすることが大切である。 ・聞き手が、どんな知識や関心をもっているかを考える。 ・聞き手に応じて、声の大きさや速さ、表情、身ぶりなど、話し方を工夫する。 ・場や聞き手に合った言葉づかいで話す。</p>	<p>○話の意図をとらえ、内容を正確に聞く。 ○自分の考えと比べながら聞く。</p> <p>【たいせつ】意見を聞き合い、考えを深める ・さまざまな立場や考え方があつてをふまえる。 ・内容や考えの中心、根拠、事例など、自分とどこがちがうのか、また、それがなぜなのかを考えながら聞く。 ・たがいに質問や助言をすることを通して、考えを深める。</p>	<p>○話し合いの目的を確かめ、目的を意識しながら、話題に沿って話し合う。 ○立場を明確にして話す。 ○決められた時間内に発言するなど、各自が進行に協力する。</p> <p>【たいせつ】主張を伝える話し合いをする 討論を行うときは、次のことに気をつけて、主張し合うようにする。 ・立場や主張を明確にして発言する。 ・主張と理由の関わりを分かりやすく説明する。 ・相手の発言の意図を考えながら聞き、その主張と理由が適切かどうか検討する。 ・互いの立場のいちばんのちがいは何かを考える。</p>